

株式会社ククナ 介護事故予防および対応の指針

株式会社ククナは、利用者様が安全で快適な生活を送れるよう、質の高い介護サービスの提供に努めます。この指針は、介護事故の発生を未然に防ぎ、万一事故が発生した場合には適切な対応を行うための行動規範として定めます。利用者様、ご家族、そして職員が安心して過ごせる環境づくりを目指します。

1. 基本理念

利用者様の尊厳を守り、安全を最優先に考えます。事故を予測し、予防することで、利用者様が快適にサービスを利用できるよう努めます。

2. 組織体制と役割

事故予防対策の実施と推進のため、以下の組織体制を整備し、各担当の役割を明確にします。

介護事故対策委員会

定期的に会議を開催し、事故予防に関する計画の策定、実施状況の評価、改善策の検討を行います。

- ・ 委員長：施設責任者が務め、委員会全体を統括します。
- ・ 委員：各部署のリーダーが務め、現場からの情報収集と対策の実行を担います。

職員の役割

全職員は事故予防の重要性を認識し、日々の業務にあたります。

- ・ サービス提供職員：利用者様の状況把握、危険箇所の早期発見、声かけによる注意喚起を実施します。
- ・ 管理者：ヒヤリハットや事故報告の集約、分析、委員への報告を行います。

3. 事故予防のための取り組み

日常業務における事故のリスクを低減するための具体的な対策です。

環境整備

安全性に配慮した施設環境を維持します。

- 定期的な点検:施設内の設備、備品、福祉用具の保守点検を定期的に行います。
- 危険箇所の改善:段差の解消、滑り止め対策、適切な照明の設置などを実施します。
- 整理整頓:通路や共有スペースには物を置かず、常に整理整頓を心がけます。

職員研修

事故予防に関する知識と技術の向上を目指し、定期的な研修を実施します。

- リスクマネジメント研修:事故発生のメカニズムや再発防止策について学びます。
- 緊急時対応訓練:転倒、誤嚥、火災などの緊急事態を想定した対応訓練を定期的に行います。
- 情報共有:ヒヤリハット事例の共有を通じて、具体的な予防策について学び合います。

情報共有と連携

利用者様の情報共有を徹底し、多職種連携による事故予防に努めます。

- 利用者様の情報共有:身体状況、既往歴、生活習慣、リスク要因などを職員間で共有します。
- ケアプランへの反映:リスクセメントを行い、個別ケアプランに事故予防策を具体的に盛り込みます。
- 外部連携:地域の医療機関や関係機関と連携し、専門的なアドバイスを受けたり、情報を共有します。

4. 事故発生時の対応

万一事故が発生した場合に備え、迅速かつ適切な対応を行います。

1. 初期対応

利用者様の安全確保と被害の拡大防止を最優先に行います。

- 救急処置:利用者様の容態を確認し、必要に応じて応急処置を行います。
- 医療機関への連絡:速やかに協力医療機関や救急車に連絡し、指示を仰ぎます。
- 周囲の安全確保:事故現場の状況に応じて、他の利用者様の安全確保を行います。

2. 報告

事故発生後、速やかな報告体制を確保します。

- 責任者への報告:事故発生を直ちに部署リーダー、施設責任者へ報告します。
- ご家族への連絡:発生状況と対応について、速やかにご家族に連絡し説明します。
- 関係機関への報告:必要に応じて、市町村や保険者などの関係機関へ報告します。

3. 原因究明と再発防止

事故の原因を深く分析し、再発防止策を策定します。

- 情報収集:事故に関わった職員、目撃者からの聞き取り、記録の確認を行います。
- 原因分析:介護事故対策委員会を中心に、具体的な原因究明を行います。
- 改善策の策定と実施:分析結果に基づき、具体的な再発防止策を策定し実行します。

附則 この指針は 2025 年 7 月 1 日より施行します。